

# 組合員の作品



鯉のぼり (門真市朝日町)  
組織部 大松 美樹雄



みい西支部 茶畑 麗子

## 短歌

大海の波静かなる千枚田白波くだけ美わしきかな

守口東支部 山城 久子

稚魚放流平成天皇と並びいて<sup>ねぎら</sup><sup>たま</sup> 辛いお言葉長兄賜う

門真中央支部 兵頭 克己

春は来ぬ廃校跡の更地には盛り上がり咲くカラスノエンドウ

門真西支部 遠藤 彰

高齢者の住める住宅捜しては説明受けるも決めかねる友

守口東支部 中嶋 順子

「残り時間が読めるからガンはありがたい」と樹木希林さん黄泉へ旅立つ

ゆづゆ支部 長 勝沼

ピラ配り終えた若もの汗ぬぐいどんと座って瞳かがやかす

あいあい支部 長野 晃

## 「たび」のおまけ

### 10回の連載を終えて

奄美大島

福山斌尋氏の連載も

ソ?

今号で終了となりま

た〜か〜イ!

す。タイトルを再掲さ

⑥伊根町・おまけは玉

せていただきます。

⑦与謝蕪村の母・谷口

①幻のレコード・新憲

⑧種田山頭火の歌碑を

多岐にわたる題材を

とりあげていただき、

まさに「トラベルライ

ター」面目躍如の楽し

い、ウイットに富んだ

連載となりました。ま

ごこと有難うございま

す。

次回からは新しい連

載がはじまります。ご

期待下さい。

編集委員会

## 田中一村終焉の地

### 奄美大島

飛行機の小さい窓から島影がみえ、やがて奄美空港に到着。南の島のたびに期待が高まります。

★

昼食は奄美大島の郷土料理はいはん(鶏飯)。ウエイトレスが食べ方を教えてくれます。「温かいご飯を茶碗に軽く入れ、錦糸卵、鶏のささみ、シイタケ、ワケギ、ミカンの皮、パイアの漬物などの具をたっぷり乗せます。その上から熱い地鶏のスープをかけて、どうぞ召し上がってください」立ち上がる湯気と香りが食欲をそそります。



一村終焉の家

「奄美パーク」へ向かいます。パークには奄美諸島の自然、文化、歴史を紹介する「あまみの郷」と「田中一村記念美術館」があります。美術館は奄美特有の穀物庫である高倉をモチーフにした展示室が三棟ならんでいて一村作品を年代順に鑑賞できます。なかでも展示室③「奄美での作品」が圧巻です。画集でなじみの傑作「奄美の杜シリーズ」の作品にでもあります。ソテツ、アダシ、ピロウ、ブーゲンビリアなど亜熱帯の植生、鳥蝶、熱帯魚が画面いっぱい一村の世界を創り出しています。

★

翌日は奄美市有屋に一村(1908〜77)終焉の家を訪ねます。一村が奄美大島に第一歩を踏んだのは50歳の時です。幼少にして神童と騒がれた一村ですが、中央画壇とたもとをわかち、千葉の家も売り払って奄美の地にきました。山裾の空き地の隅に小さな家、家というより小屋とよんだ方がふさわしい建物、一村の借家です。板戸で閉ざされていて小屋の中は伺いようもありません。しばらくすると、職員らしき人がみえて小屋の戸を開けはじめたのです。「定期的に風を通していいので」とのこと。家具一つない空間。『ここは御殿のようだと喜び、新たな創作意欲を燃やしていた』(説明板)という。一村が座っていた部屋をみるチャンスが偶然与えられました。

門真南支部

福山 斌尋



郷土料理鶏飯



奄美パーク正面



田中一村記念美術館